

PLANETARIUM



大型映像
「水の惑星」
タヒチ、モルディブ、ニューカレドニア…いのちあふれる海。
楽園地球から星空を望み、星の世界に水を探す旅。

好評
上映中
15:50～16:35
10/1以降は土日祝13:15～14:00も上映



キッズプラネタリウム
「こんやのお星さまとおたんじょうびの星座」
こんやのお星さまとおたんじょうびの星座について、やさしく解説します。
てんびん座 ▶ 9/23～10/22 さそり座 ▶ 10/23～11/20
いて座 ▶ 11/22～12/21 やぎ座 ▶ 12/22～1/19

好評
投映中
土日祝 10:30～11:10
平日の投映はありません



生解説プラネタリウム
「幻のうなぎ座」 NEW
浜松名物「うなぎ」の星座があったことを知っていますか？
昔は今よりもっと多くの星座が考えられていました。88星座制定100周年の今年、その歴史や幻となった星座たちをご紹介します。

10/1 ● ▶▶
11/30 ●
14:30～15:25
土日祝は11:40～12:35も投映



生解説プラネタリウム
「星降るクリスマス」 NEW
毎年やってくるクリスマス。あまり知られていないツリーの起源や「クリスマスの星」について解説します。雰囲気のある映像とともに、プラネタリウムでクリスマスをお楽しみください。

12/1 ● ▶▶
12/25 ●
14:30～15:25
土日祝は11:40～12:35も投映

投映スケジュール(10/1～)

平日		土日祝	
10:00～	学習利用団体(事前予約制)	10:30～11:10	キッズプラネタリウム
11:30～	学習利用団体(事前予約制)	11:40～12:35	生解説プラネタリウム
13:00～	学習利用団体(事前予約制)	13:45～14:00	大型映像「水の惑星」
14:30～15:25	生解説プラネタリウム	14:30～15:25	生解説プラネタリウム
15:50～16:35	大型映像「水の惑星」	15:50～16:35	大型映像「水の惑星」

生解説プラネタリウム、
キッズプラネタリウムは
今夜の星空解説と二部構成です。



高校生以上の方限定!

みらいーら
夜の科学館
～🍷🍷🍷が楽しめる🍷🍷🍷な夜～
毎月第3金曜日(10/21, 11/18, 12/16)
17:01～19:30
入場料: 大人600円、高校生300円 ※プラネタリウムは別途
※当日17:01～ 当館インフォメーションで発券

夜の科学館 特別プラネタリウム
[STAR FLIGHT season II]
1年かけて世界の星空をご案内する、大人限定のトラベルプラネタリウムです。
10月21日・デンマーク
11月18日・モルディブ
12月16日・シンガポール
10/21 ● 11/18 ● 12/16 ●
17:50～18:30
18:50～19:30

毎日開催 当日どなたでもご参加いただけるプログラムです。交流や体験を通して科学に触れてみよう!

<p>プラネタリウム・大型映像 スタッフによる星空のライブ解説や、映像番組の上映を行います。</p> <p>時間 投映スケジュールをご覧ください 会場 プラネタリウムドーム 定員 150人 観覧料 大人500円 高校生 250円 中学生以下無料</p>	<p>サイエンスショー ステージで披露するサイエンスショー。日替わりで様々なプログラムをご用意しています。</p> <p>時間 ①11:00～ ②12:00～ ③13:00～ ④14:00～ ⑤15:00～ 会場 みらいーらステージ 参加費 無料 定員 70人</p>
<p>ミニワークショップ 簡単な実験・工作のワークショップ。約2週間で内容が入れ替わります。</p> <p>時間 13:00～15:30 会場 展示エリア 参加費 内容ごとに異なります 定員 なし(一度に体験できる人数は5～6組程度)</p>	<p>アクティブ展示解説 日替わりで特定の展示アイテムについて詳しい解説を行います。</p> <p>時間 1日2～4回実施 会場 展示エリア 参加費 無料 定員 なし</p>

※いずれもご参加には別途常設展入場料が必要です(展示エリア外で行う場合を除く) ※感染防止のため、内容の短縮や制限等を設ける場合がございます。詳細はウェブサイトをご覧ください。

MAP



公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。
提携駐車場をご利用の方は、チケットご購入時に駐車券をご提示ください。

各イベントやプログラムは予告なく中止になる場合があります。
また、混雑具合によってはお待ちいただく場合があります。

利用料金表

	大人	中人 (高校生)	小人 (0歳～ 中学生以下)	団体 (30名以上)
常設展入場料	600円	300円	無料	浜松市・湖西市に 所在の団体 →左記料金より 3割減(割引)
常設展入場料+プラネタリウム または大型映像1回分観覧料	1,100円	550円	無料	その他地域に 所在の団体 →左記料金より 1割減(割引)
常設展入場料+プラネタリウム または大型映像2回分観覧料	1,300円	650円	無料	

※プラネタリウム・大型映像の観覧には常設展入場料が必要です。※70歳以上の方は無料です。年齢を確認できるものをお持ちください。※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの場合は、ご本人と介護者(1名)の入場料および観覧料が無料です。(手帳をご提示ください。) ※授業の一環で利用する場合の引率者は減免(無料)の対象です。
※小学3年生以下の入場および観覧の際には必ず保護者の同伴をお願いしております。
※団体でのご利用は、ご利用日の2週間前までにご予約ください。

開館時間 9:30～17:00(最終入場16:30)
休館日 月曜(祝日の場合は開館)
年間パスポート 大人 1500円 中人 750円
内容: 常設展入場のみ



科学の 学園祭

2022

学生による科学のお祭り！
日頃の活動の発表や作品展示、
実験・工作体験を通して交流しよう。

10月1日(土)ー10月23日(日)

1F 無料エリアにて
10:00～15:30 / 無料

詳しい出展スケジュールは浜松科学館ウェブサイトをご覧ください。

「みらいーら自由に研究ラボ」
パネル展示

表彰式
10月15日 15:30～

【審査員】
針山孝彦氏
(浜松医科大学 特命研究教授)



科学活動の発表・展示

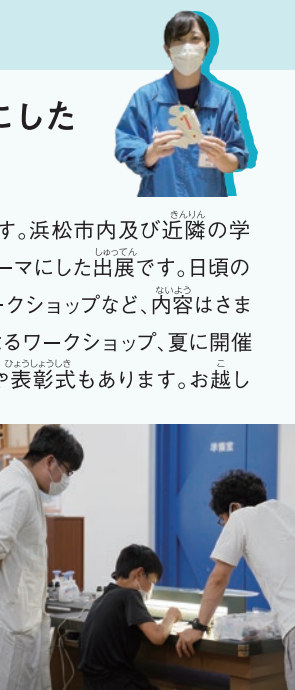
工作・実験体験など




PICK UP! 2 科学をテーマにした
“学園祭”

10月に「科学の学園祭」を開催します。浜松市内及び近隣の学生(中学生以上)による、「科学」をテーマにした出展です。日頃の活動や研究の発表、実験・工作のワークショップなど、内容はさまざま。浜松科学館のボランティアによるワークショップ、夏に開催した「自由に研究ラボ」の成果発表や表彰式もあります。お越しの際は、ぜひ出展者の皆さんに質問したり、一緒にお話ししたりしてみてください。作品の展示や発表とともに、交流も楽しもう！

詳しい出展スケジュールは、
浜松科学館ウェブサイトをご覧ください。
※右の写真は「自由に研究ラボ」の様子▶



PICK UP! 3 幻となった星座たち。

現在、世界共通で用いられている星座は全部で88個あります。1922年の国際天文学連合(IAU)の総会で定められたもので、今年で制定100周年を迎えます。それ以前には、もっとたくさんの星座が考えられていました。ゆりの花、カメ、みつばち…浜名湖名物「うなぎ」の星座もあったんですよ。10月からの生解説プラネタリウム「幻のうなぎ座」で詳しく解説します。今は幻となってしまった、様々な星座たちについて想像してみましょう。

1700年代に作成された「ピジョンの天球儀」。今では使われていない星座も記されています。▶



イベント情報
2022 10-12月

観察 実験 工作 展示 その他 申込 当日受付 当日会場受付 事前のお申込み

手作り望遠鏡 11/6

望遠鏡を手作りして、屋外で使ってみよう。11月8日の皆既月食の見方も解説します。

時間 ①10:00～②11:00～③13:30～④14:30～ 各回45分

会場 サイエンスラボ、霧のステージ(集合:サイエンスラボ)

定員 各回5組

対象 どなたでも

参加費 800円

申込 10月1日(土)～10月23日(日)

応募はウェブサイトから!




発明とアイデア展 11/19・20

共催:浜松発明研究会

浜松発明研究会によるアイデアあふれる作品の展示会。発明品のアイデア、作り方についての相談にものってくれますよ！

時間 10:00～17:00 定員 なし

対象 どなたでも 会場 出口ゲート付近 参加費 無料



15分で展示実験 11/23

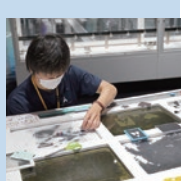
砂鉄でお絵かき「磁石で浮かび上がる形」

展示を使って、磁石が作る模様を観察しよう。オリジナルの磁石カードも作れます。

時間 ①10:30～②11:00～③11:30～④12:00～
※当日10:00～全ての回の受付を開始します

定員 各回5組 対象 どなたでも

会場 常設展 カソーン【砂鉄でお絵かき】 参加費 100円*



15分で科学実験 12/11


指のレプリカを作ろう

とても精巧！自分の指のレプリカを作ってみよう。指紋やしわまではっきりと再現します。

時間 ①10:30～②11:00～③11:30～④12:00～
※当日10:00～全ての回の受付を開始します

定員 各回5組 対象 どなたでも

会場 サイエンスラボ 参加費 300円



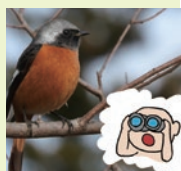
親子でバードウォッチング! 12/25

生動物博士と冬鳥を探しにいきましょう！双眼鏡の使い方から学べます。初めての方でも安心です。

時間 10:00～12:00 定員 10組 ※雨天中止

対象 小学3年生～中学生とその保護者

会場 馬込川(集合:カフェスペース) 参加費 1組300円



トークオープンダー 11/6・8

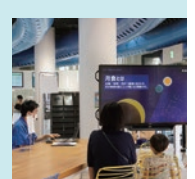
皆既月食のしくみ

11月8日は皆既月食が起こります。どのようなしくみで起こるのか、分かりやすく解説します。

時間 ①11:45～(6日のみ)②15:30～ 各回15分

定員 各回20名程度 対象 どなたでも

会場 カフェスペース 参加費 無料



大河ドラマ館に飾る 11/12・13

注染そめ手ぬぐいを作ろう!

共催:遠州産地振興協議会
協力:浜松市産業部観光・シティプロモーション課

注染そめで手ぬぐいを染めよう。オリジナルの家紋スタンプも作って押します。完成した手ぬぐいは「大河ドラマ館」に飾られるよ。

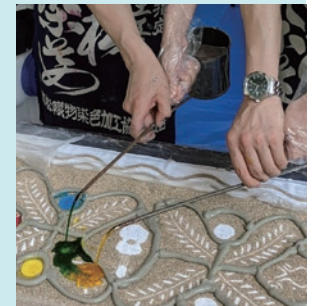
時間 1日3回(各回30分程度)
※詳細は当館ウェブサイトをご覧ください

会場 出口ゲート付近

定員 各回8人程度

対象 小学校高学年

参加費 無料




105歩で生き物観察【地衣類編】 11/27

コンクリートや樹木に付着して生きる地衣類をルーペで観察します。種間の微妙な違いに気がつくこと、お散歩がもっと楽しくなるかも。 ※雨天中止

時間 10:00～11:00 定員 10組程度

会場 自然観察園、サイエンスパーク(集合:カフェスペース)

参加費 1組100円



キッズ限定! 12/17・18
サイエンスパフォーマーになってみよう

キッズ限定！簡単な台本を覚えて、5分ほどのミニサイエンスショーをやってみよう。写真や動画を撮って持ち帰りしてみてください。

時間 ①10:00～②15:30～ 各回30分(実演は5分ほど)


会場 みらいーらステージ

定員 各回1組

対象 未就学～小学2年生とその保護者

参加費 無料*

申込 11月22日(火)～12月4日(日)




親子でバードウォッチング! 12/25

生動物博士と冬鳥を探しにいきましょう！双眼鏡の使い方から学べます。初めての方でも安心です。

時間 10:00～12:00 定員 10組 ※雨天中止

対象 小学3年生～中学生とその保護者

会場 馬込川(集合:カフェスペース) 参加費 1組300円



miniworkshop ミニワークショップ


時間 13:00～15:30(所要時間10～15分程度)

会場 展示エリア 定員 なし ※別途常設展入場料が必要です

コロコロビー玉万華鏡 10/12・23

ビー玉を使った万華鏡を作ろう。筒の中のビー玉を動かして、変化する模様を見てみよう。


200円



葉脈標本のしおりを作ろう 10/25・11/6

美しく透き通った葉脈標本をしおりにして、読書の秋を楽しもう。


100円



暗闇で光るクレヨンを作ろう! 11/8・20

描いた絵や文字に光をあてて暗いところへ持っていきと…?


200円



宇宙センサーボトル 11/22・12/4

洗濯のりでセンサーボトルを作ろう。宇宙をイメージした小物を入れて、ゆったりと漂う様子をながめてみよう。


200円



光の反射でレイヤーアート 12/6・12/18

平面的な絵が浮かび上がって立体的に見える！光の性質を利用した作品を作ろう。


200円



ペアリングゴマ 12/20・1/9

機械の部品などに使われる「ペアリング」を使ったコマ作り挑戦しよう。 ※12/29～1/3 は年末年始休館

300円



museumshop ミュージアムショップ

時間 11:00～17:00 【入場料無しでご利用いただけます】

▶ 新しいオリジナルグッズが登場!

当館人気のオリジナル12星座イラストのカードケース&ブックマークが登場。お気に入りの星座絵を見つけてみてね。



cafe みらいーらカフェ

時間 11:00～17:00 【入場料無しでご利用いただけます】

うなぎいもを使ったスイーツや、秋の味覚を楽しめるメニューが登場します!

営業協力:NAKATAJIMART



営業日などは当館ウェブサイトをご覧ください

生き物博士の
フィールドノート

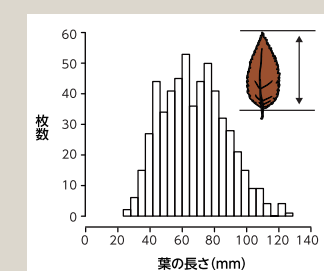
第10回

ケヤキの葉に秘められた数字の話

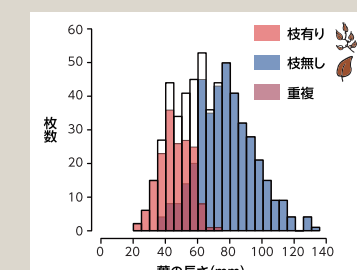


秋になって公園にケヤキの葉が落ち始めましたね。拾ってみると、2～3 cm ほどの小さな葉や、手のひらほどの大きな葉など様々なサイズがあることに気が付きます。他の樹木も葉の大きさにバリエーションがありますが、ケヤキは特に変化の幅が大きく、そしてどのサイズの葉も偏りなく存在するように感じられます。

試しに自然観察園でケヤキの落ち葉を拾って、562枚の葉の長さを測ってみました。右の図はその調査結果です。横軸は葉(葉身)の長さ、縦軸は頻度(枚数)を表しています。左から盛り上がり、増えたり減ったりギザギザな部分が続いて下降する富士山のような形になりました。どのような要因によってこのような形が描かれたのでしょうか?



実はケヤキの葉の計測の際に葉の長さとは別にある形質を記録していました。それは「葉が落枝に付いているか・否か」です。先ほどの図に、枝の有り・無しで分けた図を重ねてみましょう。



すると枝の有り・無しで綺麗に分かれ、それぞれ山型を作りました。落枝に付いた葉は小さく、葉のみの落ち葉は大きかったのです。ケヤキは同じ樹の中で、小さな葉と大きな葉の2種類を作り分けていたようです。なぜケヤキは葉の作り分けをするのでしょうか?

落枝をよく観察すると、葉柄(葉身と枝を繋いでいる部分)と枝の間に小さなコブがありました。これはケヤキの果実で、中には種子が入っています。

ケヤキは果実が付いた枝を葉が付いた状態のまま落とすことで、空気抵抗を大きくし、風で種子が遠くまで運ばれるよう葉を講じていたようです。おそらく大きな葉は表面積を大きくして光合成を効率よく行うように、また小さな葉は重くなりすぎて飛距離が短くならないように工夫しているのでしょう。

調べてみると、普段何気なく通り過ぎていく公園の片隅にも面白い現象が隠れているかもしれません。



(イラスト・文 浜松科学館 小粥 隆弘)

noteでも更新中

